

参考資料 3 第5回自然環境保全基礎調査

海辺調査(環境庁自然保護局)による造礁サンゴ分布調査結果について

第6章で記載したサンゴ礁の分布図および分布面積等の情報は、第4回自然環境保全基礎調査の結果に基づいている。その後、第5回自然環境保全基礎調査においてもサンゴ礁の分布状況がとりまとめられたので、以下にその概要を示す。

ただし、第5回自然環境保全基礎調査は水深 10m 以内のみを調査範囲としたため、過去の調査によって得られたサンゴ分布面積等の結果を直接比較することは出来ない。各基礎調査におけるサンゴ礁調査の方法は次のとおりである。

第4回基礎調査：日本列島をサンゴ礁域(トカラ列島小宝島以南)と非サンゴ礁域(トカラ列島悪石島以北)に分け、サンゴ礁海域では①空中写真の判読(礁地)と②マンタ法(礁縁)、非サンゴ礁域では①資料調査及び聞き取り調査と②マンタ法、コドラート調査を実施し、造礁サンゴ群集の属レベルの生育型、被度、位置、面積を把握した。なお、非サンゴ礁域では被度5%以上で0.1ha以上の面積をもつ群集のみを調査対象とした。

第5回基礎調査：水深 10m までの浅海域を調査対象とし、①第2回および第4回基礎調査の調査結果から情報を抽出、②必要に応じて既存資料による資料調査やヒアリングによる追加調査を行い、得られた情報を都道府県および海域ごとに集計した。ただし、浅海域の範囲に造礁サンゴ生育域の分布の一部が含まれる場合は、その造礁サンゴ生育域全体が調査対象となる。

1. 造礁サンゴ(浅海域内)

① 全国

全国の造礁サンゴ面積を、表1と表2に示す。

非サンゴ礁海域とはトカラ列島小宝島以北、サンゴ礁海域とはトカラ列島子宝島以南の海域をいう。

非サンゴ礁海域の造礁サンゴ面積は 1,814.2ha で、複数種の造礁サンゴが生育する区域を含む「その他」が 825.4ha (全国の非サンゴ礁海域の造礁サンゴ面積の 45.50%)と最も大きく、次いで卓状サンゴが 728.2ha (同 40.14%)となっている。

サンゴ礁海域の造礁サンゴ面積は 33,531.1ha で、種が不明なものを除くと、複数種の造礁サンゴが生育する区域を含む「その他」が 2,890.7ha (全国のサンゴ礁海域の造礁サンゴ面積の 8.62%)と最も大きく、次いで卓状サンゴ(1,222.8ha 同 3.65%)となっている。

表1 全国の造礁サンゴ面積(非サンゴ礁海域)

	枝状	卓状	塊状	被覆状	葉状	その他	不明	合計
面積(ha)	53.0	728.2	172.3	29.7	1.8	825.4	3.8	1,814.2
割合(%)	2.92	40.14	9.50	1.64	0.10	45.50	0.21	100.0

注 1) その他：複数種の生育を含む。
2) 未調査の兵庫県、徳島県を含まない。

表2 全国の造礁サンゴ面積(サンゴ礁海域)

	枝状	卓状	塊状	被覆状	葉状	その他	不明	合計
面積(ha)	573.2	1,222.8	544.6	14.3	0.0	2,890.7	28,285.5	33,531.1
割合(%)	1.71	3.65	1.62	0.04	0.00	8.62	84.36	100.0

注 1) その他：複数種の生育を含む。
2) 未調査の兵庫県、徳島県を含まない。

② 都道府県

都道府県別非サンゴ礁海域の造礁サンゴ面積を、図1に示す。

非サンゴ礁海域では、小笠原群島(造礁サンゴ面積 520.4ha 全国の非サンゴ礁海域における造礁サンゴ面積の28.68%)を含む東京都の造礁サンゴ面積が 527.0ha(同 29.05%)と最も大きく、次いで宮崎県(378.8ha 同 20.88%)、鹿児島県(294.8ha 同 16.25%)となっている。

東京都は複数種の造礁サンゴが生育する区域を含む「その他」、宮崎県、鹿児島県は卓状サンゴが多い。

なお、小笠原諸島はサンゴ礁海域に属するが、調査手法の便宜上本調査では非サンゴ礁海域として取り扱った。

都道府県別サンゴ礁海域の造礁サンゴ面積を、図2に示す。

サンゴ礁海域(鹿児島県、沖縄県)の造礁サンゴ面積は、沖縄県が 28,235.0ha(サンゴ礁海域における造礁サンゴ面積の84.21%)、鹿児島県が 5,296.1ha(同 15.79%)となっている。

③ 海域の造礁サンゴ

a. 海域

海域別非サンゴ礁海域の造礁サンゴ面積を、図3に示す。

非サンゴ礁海域では、小笠原群島の造礁サンゴ面積が 520.4ha(全国の非サンゴ礁海域における造礁サンゴ面積の28.68%)と最も大きく、次いで日向灘(472.4ha 同 26.04%)で、これらで全国の非サンゴ礁海域における造礁サンゴ面積のおよそ半分を占める。

これらはいずれも、複数種の造礁サンゴが生育する区域を含む「その他」が多い。

海域別サンゴ礁海域の造礁サンゴ面積を、図4に示す。

サンゴ礁海域では、八重山列島の造礁サンゴ面積が最も大きく19,231.5ha(全国のサンゴ礁海域における造礁サンゴ面積の57.35%)であり、種が不明なものが多い。

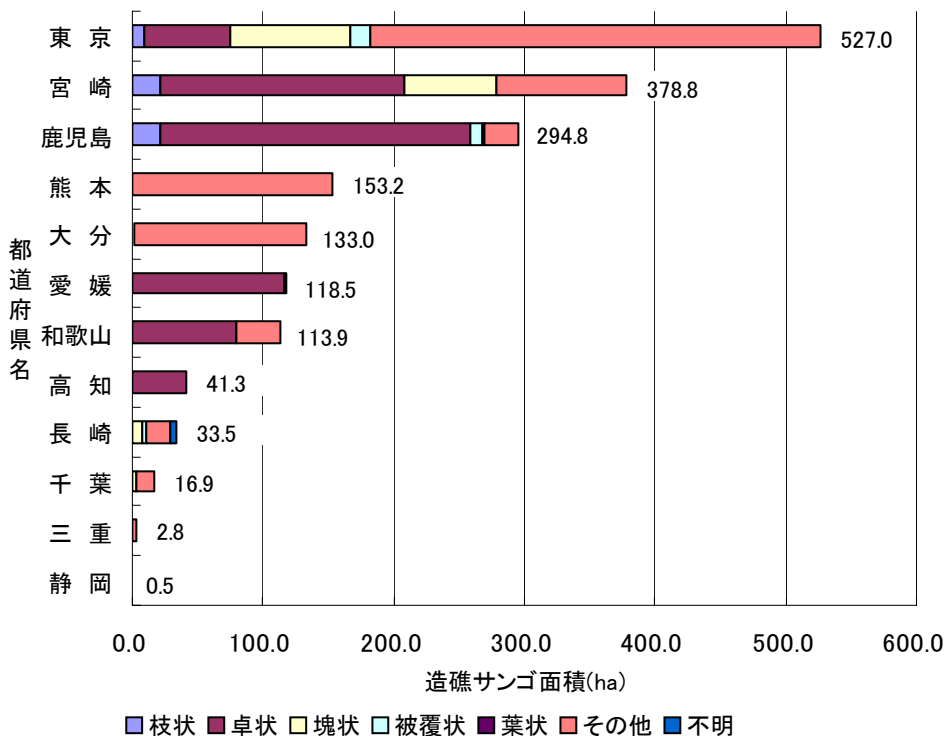


図1 都道府県別 非サンゴ礁海域の造礁サンゴ面積(浅海域内)

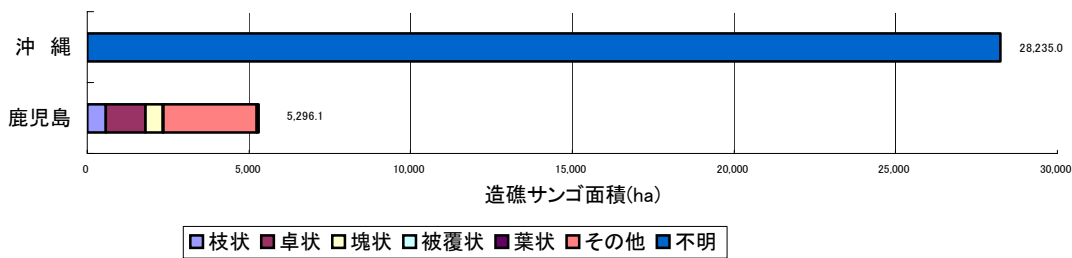


図2 都道府県別 サンゴ礁海域の造礁サンゴ面積(浅海域内)

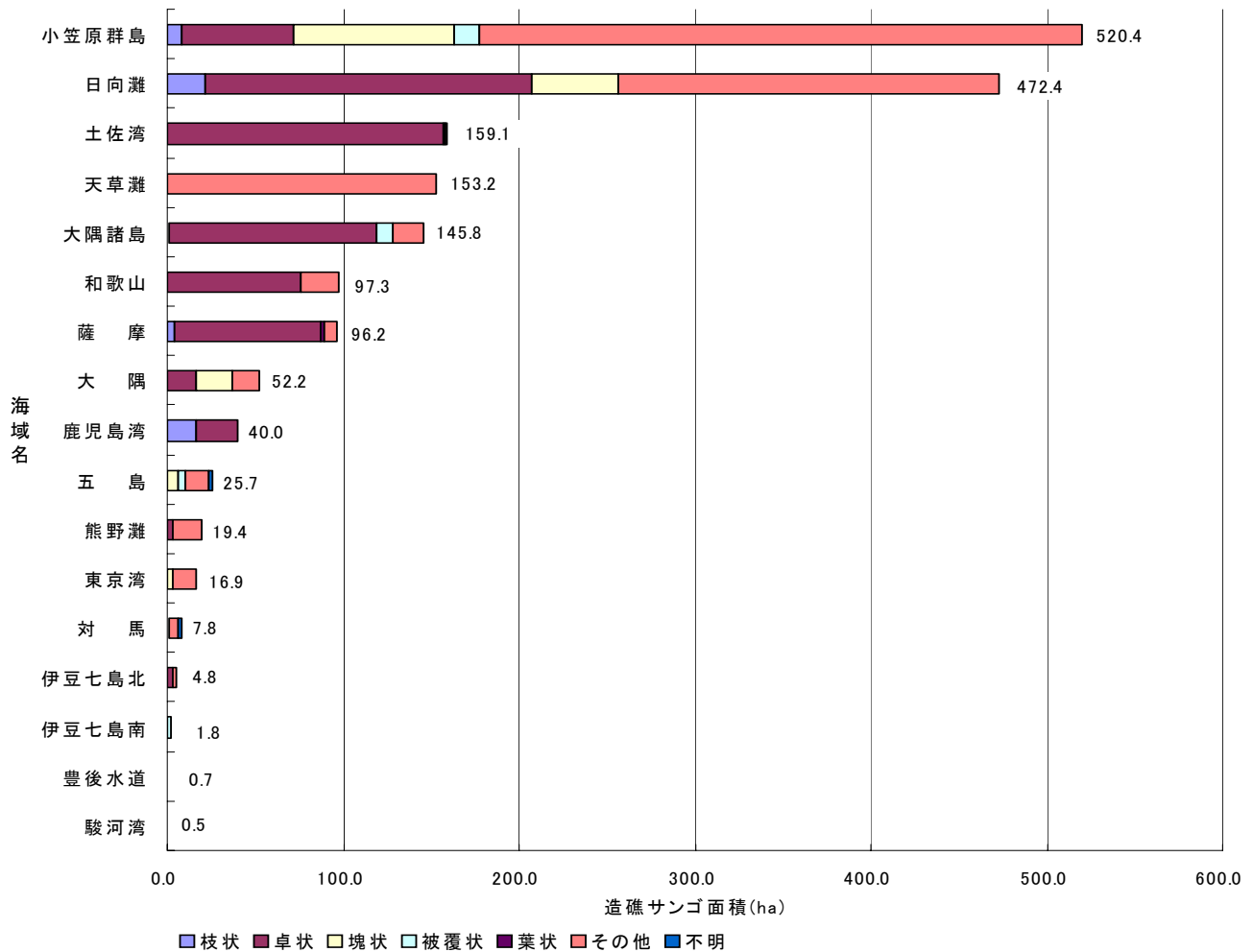


図3 海域別 非サンゴ礁海域の造礁サンゴ面積(浅海域内)

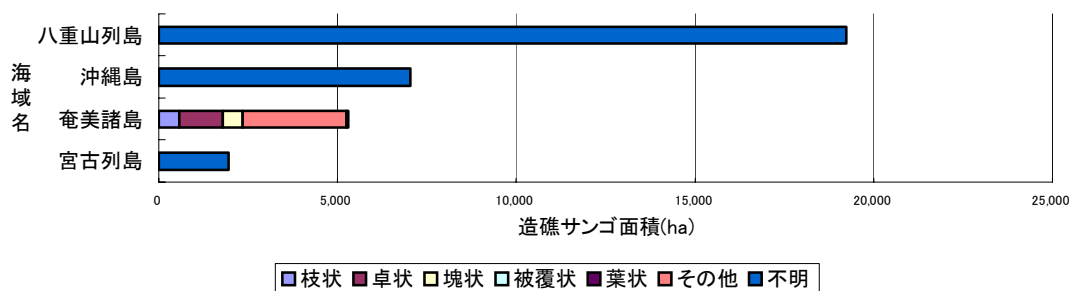


図4 海域別 サンゴ礁海域の造礁サンゴ面積(浅海域内)